

講演会

言語・文化の多様性とリテラシー

Linguistic and Cultural Diversity in Literacy

参加費
無料

日英
逐次通訳あり

本講演会では、話し言葉・書き言葉からその先へと広がるリテラシーと、多様な言語や文字体系における読み書きの発達について、文化的・言語的多様性の視点から考察します。最新の研究成果をもとに、リテラシー研究の新たな視点を紹介します。

2026年 8 月 4 日 火

時間 9:30-11:45 開場 9:00～

Elena L. Grigorenko 氏 講演 9:30～10:30
「リテラシー：話し言葉、書き言葉、そしてその先へ」

井上 知洋 氏 講演 10:30～11:30
「多様な言語や文字体系における読み書きの発達について」

※両講演終了後に、質疑応答の時間を設けます。

会場 広島大学教育学部L棟205

広島県東広島市鏡山一丁目1番1号

申込

<https://forms.office.com/r/y4b1BWxEU3>

申込締切：8月2日(日) 17時



Elena L. Grigorenko 氏

ヒューストン大学 心理学部 心理学特別教授

モスクワ国立大学において認知心理学の博士号を取得。イエール大学において発達心理学および遺伝学の博士号を取得している。現在は、ベイラー医科大学、ヒューストン大学、イエール大学に所属。これまでに600報を超える学術業績を発表し、数多くの専門的な賞を受賞してきた。研究の中心テーマは、多様な文化的・国際的文脈における子どものウェルビーイングである。



井上知洋 氏

香港中文大学 社会科学院 心理学系 准教授

筑波大学にて障害科学の博士号を取得。現在は、アルバータ大学発達・学習障害センターの教授フェローも務める。アジア読み書き学会の中堅研究者賞をはじめとする研究賞を受賞し、学術誌Reading and Writingの副編集委員長も務めている。

主催：広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構